

OpenText Identity Manager

ユーザープロビジョニング、役割管理、アクセス制御を自動化し、効率的でスケーラブルな ID 管理を実現

利点

- ID ライフサイクル管理を自動化および簡素化
- 管理コストを削減
- セキュリティとビジネスの機敏性を強化

複雑な IT 環境全体にわたるユーザー ID の管理は、時間がかかり、エラーが発生しやすく、セキュリティリスクや非効率性につながります。大企業の IT 部門にとって、コンプライアンスを維持しながら、従業員が適切なタイミングで正確にアクセスを実行できるようにすることは、常に課題となっています。

OpenText™ Identity Manager (NetIQ Identity Manager) は、ユーザーのオンボーディングからアクセス管理や認証の取り消しまで、ID ライフサイクル全体を自動化して、適切なユーザーが適切なタイミングで確実に適切なアクセスを行えるようにします。ID 関連のタスクを効率化することで、セキュリティを強化し、管理コストを削減するとともに、エラーのリスクを最小限に抑えることができます。システム間のシームレスな統合により、複雑なエンタープライズ環境での ID 管理を、スケーラブルで効率的な方法で行うことができます。

ライフサイクル管理の強化

OpenText Identity Manager は、ライフサイクル全体を通じてユーザー ID の管理を効率化する、堅牢なライフサイクル管理機能を提供します。オンボーディング、オフボーディング、役割変更などの重要なプロセスを自動化することで、組織は手動による労力とエラーを大幅に削減できます。これにより、事前定義されたポリシーに基づくユーザーアクセス権の一貫した管理が確保されるため、効率とセキュリティの両方が向上します。これらのプロセスが自動化されることで、ユーザーのプロビジョニングとプロビジョニング解除も迅速化されるため、ユーザーアクセスを最新の状態で正確に維持するのに役立ちます。

アクセスのリクエストと承認の効率化

システムの直感的なインターフェイスでアクセスのリクエストと承認を行うため、ユーザー権限の管理が簡素化されます。ユーザーはリソースへのアクセスを簡単にリクエストでき、管理者は事前定義された承認ワークフローに基づいてこれらのリクエストを迅速に確認して、承認または拒否することができます。この効率化されたプロセスにより、ユーザーエクスペリエンスが向上すると同時に、社内ポリシーや規制要件へのコンプライアンスが向上します。OpenText Identity Manager では、明確で効率的な承認プロセスを利用できるため、確実に規制に準拠した安全なアクセス制御環境を維持するのに役立ちます。

包括的な役割管理

組織は、権限を役割にグループ化することで、ユーザーがそれぞれの職務に基づいて適切なアクセス権を得られるようにすることができます。この役割ベースのアプローチは、アクセス管理を簡素化するだけでなく、特定の役割に必要なリソースへのアクセスのみをユーザーに提供するため、セキュリティの強化にもつながります。加えて、役割管理は、権限管理の複雑さの軽減や、権限のクリープが発生するリスクを最小限に抑えるうえでも役立ちます。

ミュンヘン・フライジング大司教区は、OpenText Identity Manager を使用して、強力な ID ベースのセキュリティおよびコラボレーション環境を実現しています。

[成功事例はこちら](#)

Bancomext は、IT リソースのプロビジョニングを管理し、金融機関に対するメキシコ政府の規制を順守するため、OpenText Identity Manager と OpenText Access Manager with Managed Services を選択しました。

[成功事例はこちら](#)

OpenText Identity Manager は、イノベーションの推進と効率的な医療サービスの提供をサポートします。

[成功事例はこちら](#)

利用可能な関連サービスオプション

- [コンサルティングサービス](#)
- [ラーニングサービス](#)

ID 管理を効率化する方法

[ブログを読む](#)

合併と買収における ID 管理の課題

[ブログを読む](#)

ID およびアクセス管理とは

[詳細はこちら](#)

ID ガバナンスと管理とは

[詳細はこちら](#)

高度なポリシー適用

OpenText Identity Manager は、アクセス権とアクセス許可が組織のポリシーに従って一貫して適用されるようにします。このシステムにより、役割、部門、セキュリティレベルなど、さまざまな基準に基づいてユーザーアクセスを管理する複雑なポリシーを作成して適用できるようになります。このポリシー主導型のアプローチは、不正アクセスに関連するリスクの軽減や、規制要件への確実な順守につなげることができます。きめ細かにポリシーを適用することで、全体的なセキュリティと運用効率が増進します。

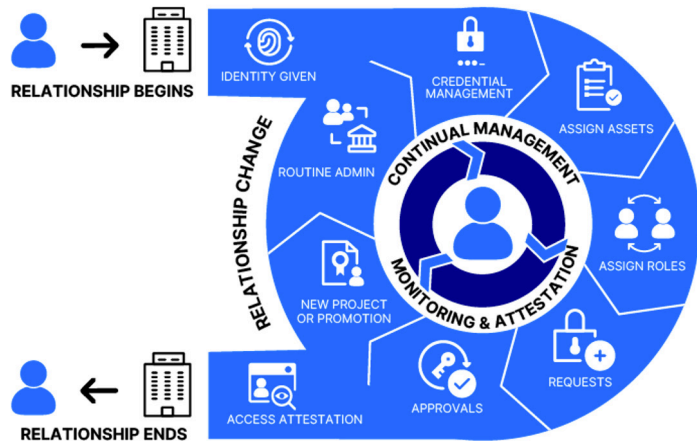
中央管理コンソール

中央管理コンソールで、ユーザー ID、アクセス権、コンプライアンスの状況を一元的に確認することができます。このように一元化されているため、管理者は単一のインターフェイスで、ユーザーアカウント、アクセス要求、ポリシーのコンプライアンス状況を効率的に監視して管理できます。管理コンソールが提供する包括的な可視性と制御は、潜在的な問題の迅速な特定と対処に役立ち、全体的な管理効率と有効性を向上させます。

スケーラブルなアーキテクチャ

OpenText Identity Manager は、あらゆる規模の組織に対応したスケーラブルなアーキテクチャで設計されています。組織がユーザーベースの拡大や追加システムの統合を行う場合も、パフォーマンスを損なうことなく、進化するニーズに合わせてソリューションを拡張できます。このようにスケーラビリティに優れているため、ID 管理要件の拡大や変化に際しても、組織は引き続きこのソリューションに頼ることができます。

OpenText Identity Manager は、イベントベースのアーキテクチャを活用してユーザーライフサイクルのイベントに対する応答をリアルタイムで提供し、一元的なポリシーの即時適用やシステム全体にわたり ID 権限の強化が確実に実行されるようにします。このソリューションでは、企業の資産を不正アクセスから保護する安全なフレームワークを維持しながら、効率化された権限管理でセキュリティとアクセス性のバランスをとることが優先されます。また、堅牢なレポート機能により、強力なコンプライアンスサポート、システム全体でのユーザーアクセスに対する明確な可視性、履歴データに対する詳細な知見も提供されます。この包括的なアプローチによって、効果的な追跡、管理、監査準備が実現します。



個人の役割の変更やプロジェクト間の移行、組織からの完全な離脱など、絶えず進化するユーザーのライフサイクル管理においては、課題が動的に生じます。